



新春番組、収録中のコーディネーター
塚田誉氏（テレビ金沢）と栗市長

ごあいさつ

平成 27 年 12 月 4 日

早いもので師走を迎えました。

1 日からは 12 月議会定例会が開会しています。議会で提案説明をさせていただいたことからいくつかご紹介いたします。今月 21 日に白山市の金城大学、金城大学短期大学部、そして金城学園と、包括連携協定を締結する予定です。これまでも福祉関係で連携、協力をいただいておりますが、今後もそれを含めさらに充実させていくために、協定締結をさせていただくことになりました。

新たに行われる土地区画整理事業や中央地区整備事業に向けての「立地適正化計画」を平成 30 年を目途に策定いたします。安心して居住する区域、都市としての機能的な区域、それらをつなぐ公共交通網を「野々市版コンパクトシティ」として明確にうちだすものです。すでに野々市は理想的ではあるものの、これを計画として位置づけることにより、国からの支援が受けやすいこととなります。

また、「野々市市本社機能立地促進のための市税の課税の特例に関する条例の制定」ですが、地方創生で石川県の取り組みとして、9 月の県議会で本社機能を移転する場合、不動産取得税や法人事業税を軽減する条例を制定しました。東京一極集中の是正やこの地方に雇用の場を確保することが、結果として地方創生の柱となると考えたからです。野々市市でもこれに呼応するよう固定資産税、都市計画税の軽減措置を設け、積極的な企業誘致のための支援を行います。地域経済の活性化と雇用を創り上げていくことが、本市の発展にも重要であると考え、県内他市町に先駆けて条例の制定をするものです。

さて、先月 25 日文化会館での立志式において、今年全国大会初出場で準優勝を成し遂げた布水中学校女子バスケットボール部のことをお話いたしました。全国大会出場は大きな目標であったということでしたが、3 年生にとっては中学生生活最後の試合なので、そのことをみんなで考え頑張ったということで、チームワークで目標に向かう姿勢を大切にしたいということを伝えました。

子どもたちにはそれぞれの夢があると思います。また、その可能性もそれぞれ持ちあわせています。子どもたち自身も、それを見守る大人たちもその可能性を信じることで最大の力を発揮することになるのではないのでしょうか。

今年を振り返るととても印象的な一年でした。北陸新幹線金沢開業、天皇皇后両陛下が野々市にお立ち寄りになられたこと、地方創生にからんだ計画の立案、国勢調査と大変忙しく過ごしました。何よりも健康で多くの仕事に取り組めたことに感謝いたします。

笑う門には福来る、新しき年も野々市市民の皆さんが明るく元気な「野々市スマイル」で過ごされることを願っております。